



平成28年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年6月2日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 四半期報告書提出予定日 平成28年6月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第3四半期の連結業績（平成27年8月1日～平成28年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第3四半期	1,873	△14.5	468	△30.5	471	△35.3	320	△17.1
27年7月期第3四半期	2,192	△7.1	674	△8.6	729	△4.4	387	△44.4

(注) 包括利益 28年7月期第3四半期 210百万円 (△33.7%) 27年7月期第3四半期 317百万円 (△55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第3四半期	39.75	39.75
27年7月期第3四半期	48.05	48.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年7月期第3四半期	4,930	4,387	89.0	543.7
27年7月期	4,856	4,258	87.7	527.6

(参考) 自己資本 28年7月期第3四半期 4,387百万円 27年7月期 4,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	-	0.00	-	10.0	10.0
28年7月期	-	0.00	-	-	-
28年7月期(予想)	-	-	-	10.0	10.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

27年7月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 上場市場変更記念配当 5円00銭

3. 平成28年7月期の連結業績予想（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,360	△16.2	421	△46.9	420	△52.6	270	△50.2	33.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 連結業績予想の修正につきましては、平成28年5月31日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年7月期3Q	9,562,000株	27年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	28年7月期3Q	1,491,000株	27年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年7月期3Q	8,071,000株	27年7月期3Q	8,058,353株

（注）当社は、平成26年2月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式（自己株式を含む）及び期末自己株式並びに期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、LTEのサービスが世界各地で開始され、スマートフォン等の多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が本格化しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスも始まり、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、世界に先駆けて5Gサービスの実現に向けての研究も行われております。一方で通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、低価格端末ベンダー及びMVNOの新規参入、国内端末メーカーの事業撤退等もあり、今後も通信事業者及び通信機器メーカーの競合状況は一層の激化が予想されます。

また、固定通信分野におきましては光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。スマートフォン等の普及によるユーザートラフィックの増加により、ネットワークの負荷低減に向けた投資も行われており、通信インフラの更なる高速化・大容量化が求められております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い積極的な研究開発投資が見込まれる一方で、サービスの低価格傾向は定着しており、通信各社の研究開発及び設備投資は選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTE-Advancedに対応する製品の開発及び販売
- (ii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iii) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (iv) WiMAXに対応した製品開発及び販売
- (v) 第3世代移動体通信対応製品の販売
- (vi) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vii) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 1,694,037千円(前年同期比19.1%減)

当セグメントの売上高は、1,694,037千円となりました。LTE-Advancedの研究開発用途向けテストソリューションの国内における販売は堅調に推移いたしました。海外向けの販売が前年同期比で大幅に減少した結果によるものです。

(IPネットワークソリューション) 179,142千円(前年同期比84.9%増)

当セグメントの売上高は、179,142千円となりました。パケットキャプチャツール「etherExtractor」及びインダストリアル分野におけるネットワークセキュリティ用途の製品並びにコアネットワークテストの販売を行った結果、前年同期比で大幅な増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高1,873,180千円(前年同期比14.5%減)、営業利益468,439千円(前年同期比30.5%減)、経常利益471,903千円(前年同期比35.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益320,800千円(前年同期比17.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,762,338千円であり、前連結会計年度末に比べ73,916千円増加いたしました。売掛金が601,986千円減少したものの、現金及び預金が549,504千円、商品及び製品が94,844千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,168,195千円であり、前連結会計年度末に比べ239千円増加いたしました。投資有価証券が200,491千円減少したものの、工具、器具及び備品が154,283千円増加したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は530,749千円であり、前連結会計年度末に比べ55,303千円減少いたしました。未払法人税等が218,747千円減少したものの、買掛金が133,226千円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月期の業績予想につきましては、平成28年5月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」について公表いたしましたとおり、平成28年3月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(4) 追加情報

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.3%から平成28年8月1日に開始する連結会計年度及び平成29年8月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.9%に、平成30年8月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.6%にそれぞれ変更されております。

この税率変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,396,116	2,945,621
売掛金	990,555	388,568
有価証券	43,993	39,984
商品及び製品	139,106	233,950
仕掛品	8,338	33,556
原材料及び貯蔵品	45,729	86,960
その他	64,581	33,696
流動資産合計	3,688,422	3,762,338
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,201	14,613
車両運搬具(純額)	1,200	831
工具、器具及び備品(純額)	132,934	287,217
有形固定資産合計	140,336	302,662
無形固定資産	16,148	17,247
投資その他の資産		
投資有価証券	908,348	707,856
その他	103,122	140,428
投資その他の資産合計	1,011,471	848,285
固定資産合計	1,167,955	1,168,195
資産合計	4,856,378	4,930,534
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,213	310,440
未払法人税等	263,795	45,048
賞与引当金	26,888	58,006
その他	118,155	117,255
流動負債合計	586,053	530,749
固定負債		
資産除去債務	11,693	11,790
その他	81	—
固定負債合計	11,774	11,790
負債合計	597,828	542,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	2,022,001	2,262,092
自己株式	△505,530	△505,530
株主資本合計	4,379,566	4,619,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140,597	△243,083
為替換算調整勘定	19,310	11,421
その他の包括利益累計額合計	△121,286	△231,662
新株予約権	270	—
純資産合計	4,258,549	4,387,994
負債純資産合計	4,856,378	4,930,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)
売上高	2,192,076	1,873,180
売上原価	626,488	445,362
売上総利益	1,565,587	1,427,818
販売費及び一般管理費	891,491	959,378
営業利益	674,096	468,439
営業外収益		
受取利息及び配当金	58,945	15,880
その他	3,309	—
営業外収益合計	62,255	15,880
営業外費用		
支払利息	385	185
為替差損	4,904	11,914
投資有価証券売却損	1,723	—
消費税差額	163	35
その他	—	282
営業外費用合計	7,176	12,417
経常利益	729,174	471,903
特別利益		
新株予約権戻入益	—	270
特別利益合計	—	270
税金等調整前四半期純利益	729,174	472,173
法人税、住民税及び事業税	254,500	170,000
法人税等調整額	87,496	△18,627
法人税等合計	341,996	151,372
四半期純利益	387,178	320,800
親会社株主に帰属する四半期純利益	387,178	320,800

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)
四半期純利益	387,178	320,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78,795	△102,486
為替換算調整勘定	8,965	△7,888
その他の包括利益合計	△69,829	△110,375
四半期包括利益	317,348	210,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,348	210,425
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成27年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	2,095,181	96,894	2,192,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,095,181	96,894	2,192,076
セグメント利益又は損失(△)	825,916	△151,819	674,096

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年8月1日至平成28年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,694,037	179,142	1,873,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,694,037	179,142	1,873,180
セグメント利益又は損失(△)	654,907	△186,467	468,439

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。